科目コード	ナンバリング	単位数	学期	授業区分	科目区分	履修区分	学年
430010	XYY3430010	2	前期	国際学部国際文化学科	×	×	×
				国際学部国際文化学科英語集中コース	×	×	×
授業科目	担当教員			情報文化学部情報文化学科	×	×	×
地域統計	藤田　晴啓			情報文化学部情報システム学科経営コース(26 年度以降)	専門	選択	３年
				情報文化学部情報システム学科情報コース(26 年度以降)	専門	選択	３年
				情報文化学部情報システム学科経営コース(25 年度)	専門	選択	２年
				情報文化学部情報システム学科情報コース(25 年度)	専門	選択	２年
				情報文化学部情報システム学科(24 年度以前)	専門	選択	２年

授業目的

地域を理解し研究する手法に「地域分析」がある。地域分析では、統計および地理データを使い、地域の計量的分析および空間的分析を行い、社会経済構造の類型化、あるいは地域社会や産業構造をモデル化する研究手法が主として使われる。特に、地域の計量的分析および社会経済構造の類型化では多変量解析という統計手法が多く用いられる。対象地域の統計データを収集し、多変量解析を行い、その結果をモデル化、地図化することにより、地域社会経済構造をさらに深く調べることが可能となる。本授業では計量的分析として、地域の統計データを処理・分析する一連の手法を学習し、「地域分析」のてがかりとする。

各回毎の授業内容

第１回
【授】授業の目的、めざすところ、全 15 回の内容等ガイダンス
【前・後】教科書を事前に購入し「はしがき」を読んでおく

第２回
【授】地域統計データと多変量解析
【前・後】毎回授業では前回授業復習を行うが、各自復習しておく

第３回
【授】多変量解析と地理時行列、施設へのアクセシビリティ単回帰分析
【前・後】毎回授業では前回授業復習を行うが、各自復習しておく

第４回
【授】人口増加率の経年変化、重回帰分析
【前・後】毎回授業では前回授業復習を行うが、各自復習しておく

第５回
【授】地域構造を知るための因子分析
【前・後】レポート課題１

第６回
【授】地域事象類型化のためのクラスター分析
【前・後】毎回授業では前回授業復習を行うが、各自復習しておく

第７回
【授】複数の非説明変数群に対応する正準相関分析、農業構造変化の分析
【前・後】毎回授業では前回授業復習を行うが、各自復習しておく

第８回
【授】質的データ解析のための数量化理論とダミー変数
【前・後】毎回授業では前回授業復習を行うが、各自復習しておく

第９回
【授】数量化理論Ⅰ類ビールの出荷量予測
【前・後】レポート課題２

第１０回
【授】数量化理論Ⅱ類、Ⅲ類および数量化理論Ⅳ類
【前・後】毎回授業では前回授業復習を行うが、各自復習しておく

第１１回
【授】顧客選好性の項目水準影響度を比較できるコンジョイント分析
【前・後】毎回授業では前回授業復習を行うが、各自復習しておく

第１２回
【授】多次元尺度構成法事例、道路網整備による距離および費用空間の時系変化
【前・後】レポート課題３

第１３回
【授】メッシュ・クラスター分析による都市圏の小売業店舗の立地人口解析
【前・後】毎回授業では前回授業復習を行うが、各自復習しておく

第１４回
【授】まち歩きマップにおける点分布パターン分析
【前・後】毎回授業では前回授業復習を行うが、各自復習しておく

第１５回
【授】授業のまとめ
【前・後】毎回授業では前回授業復習を行うが、各自復習しておく

第１６回
【授】定期試験

成績評価方法

	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	強調・指導力	発表・表現	その他	評価割合(%)
定期試験	４５	２０					６５
小テスト・授業内レポート							
宿題・授業外レポート	１０	５	５		１５		３５
授業態度・授業への参加							
成果発表（口頭・実技）							
演習							
その他							

教科書参考書

教科書：地域分析−地域の見方・読み方・調べ方−　（村山佑司・古今書院）
参考図書：地域分析入門（大友篤・東洋経済新報社）

受講に当たっての留意事項

私語厳禁、まわりに迷惑を与えるので、注意は１回まで（2 回目で退席を勧告します）。モバイルフォン等を許可なしに授業中使用した場合はその場で退席を勧告します。座席を指定します。
コンジョイント分析は履修生全員の質問調査を行い PC 教室にてレポートを作成する統計解析をおこないます。PC 教室を統合して授業を行う必要があり、履修者数を制限することもあります。

学習到達目標

地域統計のデータ構造、主要な多変量解析と応用事例を理解習得する（定期試験：２５%）。
主要な多変量解析事例による地域の社会・経済構造の類型化分析を把握する（定期試験：２０%）。地域統計に関る変量を学び、それらをどのように解析することにより、問題解決に役立つかを理解し説明できるようになる（定期試験：２０%）。
主要な多変量解析事例による地域の社会・経済構造の類型化分析を復習する（レポート：３５%）

JABEE

関連する学習・教育到達目標：Ｈ

【授】：授業内容【前・後】：事前・事後学習